

■ 令和2年度活動報告

1 会員への情報提供及び情報交換

(1) 方針

- 会員相互の情報交換を促進するため、交流の場を設ける。
- 他のネットワーク組織やインキュベーション施設、公設試、千葉県等との連携を強化し、相補的・発展的な活動展開を図る。
- 県の産業振興策をはじめ、国の政策やAMED、NEDO等の事業に関する情報収集を行い、会員へ情報提供する。

(2) 具体的な取組

ア 総会

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止の観点から、集合形式での開催を見合わせ、書面開催とした。

時 期：令和2年9月4日（金）

内 容：令和元年度活動報告、令和2年度活動方針（案）について

イ 事例報告会

開催なし

ウ 企画運営会議

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止の観点から、集合形式での開催を見合わせ、書面開催とした。

時 期：令和3年3月

内 容：

- ・令和2年度活動報告（案）について
- ・令和3年度活動方針（案）について

エ セミナー

(ア) オープンイノベーション交流会 in CHIBA～最先端バイオ技術の活用～

（千葉県及び（公財）かずさDNA研究所との共催）

日 時：令和3年1月26日（火）14:00～15:40

場 所：オンライン（Zoom ウェビナー及びYouTube 配信）

参 加：参加登録者150名（最大視聴者114名）

内 容：

○基調講演

- ・組織間連携を加速させるオープンイノベーション推進事業について
経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 産業技術革新課
係長 荻谷 裕樹 様

○ベンチャー企業ピッチ

- ・医療機器表面を生体模倣構造とする技術と発現効果
インテリジェント・サーフェス(株) CEO&CTO 切通義弘 様

- ・微細藻類が持つ可能性とアルガルバイオの取り組み
(株)アルガルバイオ 代表取締役 竹下 毅 様
- ・ゲノム解析の医療実装化
(株)ゲノムクリニック 代表取締役 曾根原 弘樹 様

○活動紹介

- ・遺伝子から代謝物のオミックス解析などの最先端受託サービス
(公財)かずさ DNA 研究所
- ・千葉大学の地域連携の取り組み
千葉大学 学術研究・イノベーション推進機構
特任教授 知財・技術移転戦略部門長 渋谷 善弘 様

○その他

- ・イベント終了後、令和3年2月16日(火)から2月28日(日)までの期間限定で、特設サイト「カンファレンス・パーク」内で当日のプログラムのオンデマンド配信を行った。
- ・また、発表者との名刺交換やメッセージ交換をできるようにし、イベント終了後も、参加者間の交流を促した。

オ 外部ネットワーク等との連携の強化

全国バイオ関係者会議幹事会(事務局:(一財)バイオインダストリー協会)やバイオ産業支援機関ネットワーク会議(事務局:(公財)木原記念横浜生命科学振興財団)等に参画し、バイオエコノミー社会の実現に向けた基盤戦略である「バイオ戦略」(統合イノベーション戦略推進会議)や関係省庁の施策、各支援機関による支援事例等に関する情報収集及び情報交換を行った。

2 共同研究プロジェクトの創出に向けた取組

(1) 方針

- 新たなプロジェクト創出のため、県内大学・研究機関のシーズと企業ニーズの探索に努める。
- 共同研究プロジェクトの創出に向け、情報交換の場を設ける。

(2) 具体的な取組

ア セミナーの開催(再掲、内容は1の(2)のエのとおり)

オープンイノベーションの機運の高まり等を受け、バイオベンチャーによるピッチを中心としたオンライン交流会を開催し、異業種・異分野の企業間を結び付ける場の提供に取り組んだ。

イ バイオ・ライフサイエンス分野に関する県庁内連絡会議の開催

県庁内関係課と試験研究機関等との情報交換を1回実施した。

時 期：令和2年9月10日(木)

内 容：かずさDNA研究所の活動及び最近の成果
各部局における取組 等

■ 令和3年度活動方針

1 会員への情報提供及び情報交換

(1) 方針

- 会員相互の情報交換を促進するため、交流の機会を設ける。
- 他のネットワーク組織やインキュベーション施設、公設試、千葉県等との連携を強化し、相補的・発展的な活動展開を図る。
- 県の産業振興策をはじめ、国の政策やAMED、NEDO等の事業に関する情報収集を行い、会員へ情報提供する。

(2) 具体的な取組

ア 総会（事例報告会と同時開催予定）

時 期：令和3年6月

方 法：オンライン開催

内 容：令和2年度活動報告、令和3年度活動方針（案）

イ 企画運営会議

時 期：令和3年6月（顔合わせ）、令和4年3月

方 法：オンライン開催

ウ 事例報告会（総会と同時開催予定）

時 期：令和3年6月

方 法：オンライン開催

テーマ：脂質を見る・知る・考える～最新のリポドミクス解析技術から
医学研究まで～

エ ネットワーク形成及び情報交換

企業や研究機関等がニーズ発信やマッチング、情報交換等、双方向の交流をできる機会を設け、ネットワーク形成を促進するとともに、外部ネットワーク等との連携を強化する。

また、バイオ戦略（統合イノベーション戦略推進会議）が目指す市場領域や本県の特徴等を踏まえ、タイムリーな話題の提供や産学連携・産産連携等による新事業・新産業の創出に資するセミナーや勉強会等を開催する。

2 共同研究プロジェクトの創出に向けた取組

(1) 方針

- 新たなプロジェクト創出のため、県内大学・研究機関のシーズと企業ニーズの探索に努める。
- 共同研究プロジェクトの創出に向け、情報交換の機会を設ける。

(2) 具体的な取組

- 会員の事業内容等を把握・整理し、必要に応じてマッチングの機会を設ける。
- バイオ戦略が目指す市場領域において、本県の強みを活かせる分野を模索するとともに、有望な分野については、関係者による情報交換の機会を設ける。
- 企画運営会議等で提案のあった内容等について、必要に応じヒアリングを行った上で、関係者による情報交換や勉強会等の機会を設ける。